

イケビふれあい通信

1月号

H29年 No.78

旧年中は格別のご高配を賜り
厚くお礼申し上げます。

新しい年が皆さんにとって、
希望に満ちた年でありますよう
お祈りしております。

平成 29 年 元旦

池田記念美術館職員一同



◆魚沼ベストショット展 Part VI

「魚沼ベストショット展」を開催します。今年で6回目を迎え、県内外40名の写真家の作品が勢ぞろいします。1月21日(土) 15時開始の「出展者による作品解説会」では、撮影した本人による臨場感のある解説をご堪能ください。また、2月4日(土) 13時から「初心者向け写真教室」を開きます。毎回若者からお年寄りまで参加していただいておりますので、お気軽にお問い合わせください。今回から、「私のお気に入り(My Favorite Things)」コーナーを新設しました。出展者から、デジタル以前のカメラでとらえた思い

出の写真やアルバムなどと、写したカメラと一緒に展示していただきます。時代の証言者として、写真を撮ることの楽しさや面白さを感じ取っていただければ幸いです。来年には、作品は出せないが、「私のお気に入り」コーナーなら出してみたいという一般の方にも参加していただける企画にしていきたいと思っておりますので、ご期待ください。(岡西英孝)

◆シルクロードの壁画

当館では、シルクロードの遺跡、敦煌莫高窟の壁画の模写を収蔵しています。そのうちの一点、北魏時代の「薩垂太子本生捨身飼虎図」は釈迦の前生を描いた壁画で、飢えた虎の親子のために己の身を投げて餌として与えるという物語が描かれています。

この絵にはいくつかの場面が同時に描かれています。これを「異時同図法」といいます

が、同じ物語が法隆寺の玉虫厨子にあり、構図は違いますが、同じ手法を取っています。

異時同図法は、日本では絵巻や屏風などでよく使われていましたが、世界中で見られます。西洋絵画では、初期ルネサンス時代を代表する画家マサッチオのプランカッチ礼拝堂フレスコ画などがあります。捨身飼虎図から、日本の法隆寺、平安時代の絵巻、イタリあのマサッチオまで連想できるのは面白いと思います。物語を一枚の画面で表現するのに、合理的な方法ではありますね。(広田かおり)

◆ささやかな宝物

年末の大掃除は引き出しの整理から始めました。ずっと、ほったらかしにしていたので、写真やら切り抜きやら、その量の多さに自分でもびっくりしました。頂いた手紙や写真などを見ていると、なかなかほかどらず、時間があつという間に過ぎてしまいました。

一番多かったのは、料理のレシピでした。今は、作りたい料理や、冷蔵庫の中にある食材を携帯などで検索すると、すぐに何種類ものレシピが出てきます。私は料理番組を見たり、友達や先輩に教えてもらった料理の手順やコツを自分なりに図にして保存しています。それが使いやすく、自分にとって大切な宝物になっています。

しかし、半分以上はまだ一度も作れていません。どんな味や食感になるのか想像がふくらみます。上手にできるか少々心配ですが、美味しいと言われる料理の一つでも多く自分のものにしたいと思っています。(佐藤良子)

◆目標に向かって

昨年中は大変お世話になり、ありがとうございました。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

いつも娘のことばかりの原稿で反省しつつ、今回もそして今年もまた、書かせていただき

たいと思います。

12月の始めに、娘の部活の中越地区新人大会が行われました。ここだけの話ですが、娘のチームはまだ1勝もしたことのない弱小チームです。経験者もいるのですが、ほとんどが未経験者のチームで人数もギリギリ、いきなりのスタメンといった状態です。限られている時間のなか、大会前に練習試合をしたところ、少しは動きも良くなり、なんとか完敗せずに試合をしました。そしていざ、大会へ！相手は郡市上位の強豪校。でも、諦めずに本気で試合に挑みました。点差はひどいものでしたが、試合後は晴れ晴れとした顔をしていました。たくさん練習をして、いつか勝てるその日を夢見て頑張っ

てほしいと思いました。(山口加奈子)

◆酉年を迎えて

地元の酒で一献傾けながら、新年を祝った方も多いでしょう。今年の十二支は酉ですが、酉はもともと「酒を醸造するときの器」を象った文字で、酒を盛った器、酒壺、酒樽を意味するのだそうです。酒好きにとつては、この一年は思う存分飲んでもいいよとお墨付きをもらったようで嬉しいのですが、還暦を迎えた我が身を、少しは大事にしなければ……。

今年は作家の方々と出会う機会が増えそうな予感です。論語の学而篇にある「朋あり遠方より来る、また樂しからずや」の気持ち忘れず、遠くから来てくれる友人や同じ志を持つ人たちと美味しい酒を酌み交わし、一緒に学び、切磋琢磨することができれば、この上ない幸せだと考えています。

さて、真冬の美術館は企画展やイベントが目白押しです。ぜひ、おいでください。お茶を飲みながら、墨絵の世界をぼんやり眺めていると、心が落ち着きます。池には鳥もいますよ。晴れている日もいいのですが、一番のおすすめは吹雪の情景です。(高橋良一)

錯覚展開催にあたって

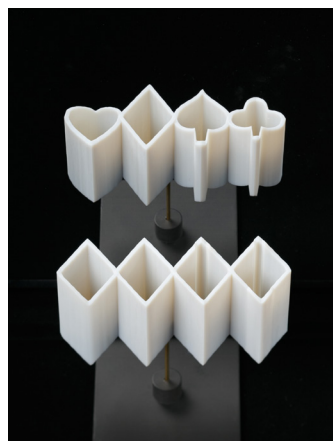
杉原厚吉

このたびは池田記念美術館において、私の錯覚作品を展示する機会をいただけたこと、大変光栄に存じております。

目の錯覚は、ものが実際とは違うように見えてしまう現象で、そのうえ、本当のことを教えられても修正できません。こうだとわかっていても、それとは別のものを脳は勝手に見てしまします。錯覚を体験すると、自分の脳の中に自分ではわかっていない部分があることを思い知らされます。

私は、画像から立体を認識するロボットの目を開発する研究の中で、ロボットと比較すると、人がなぜ錯覚を起こすかが説明できることに気づき、目の錯覚の仕組みを数学的に調べる分野へも研究対象を広げてきました。仕組みがわかると、脳をあざむく新しい錯覚作品を創作できるようになります。その代表的なものを集めたのが、今回の錯覚展です。目の前の立体を見ているのに、そんな立体はあり得ないという不思議な知覚を体験し、見ることの危うさを再認識していただけたらうれしいです。

(明治大学特任教授)



「トランプのたわむれ」

池田記念美術館 展覧会・イベント情報

第61回 南魚沼郡市児童生徒美術展

◎1階企画展示室、2階展示室I ◎期間：1月7日(土)～1月17日(火)

南魚沼市及び湯沢町の児童生徒の作品約500点を展示します。期間中は全館無料となります。

■作品解説会 1月7日(土) 10時～11時 講師：新潟大学教授 佐藤哲夫氏

〈冬季特別展示〉錯覚展—不可能立体の不条理世界—

◎多目的ホール ◎期間：1月7日(土)～2月28日(火) ※1月7日～17日は全館無料。

東大名誉教授、明治大学先端数理科学インスティテュート副所長の杉原厚吉特任教授が制作した、実際とは違うように見えてしまう摩訶不思議な錯視立体を展示します。

■杉原教授来館・作品説明会 1月15日(日) 13時30分～

魚沼ベストショット展 Part VI

◎1階企画展示室、2階展示室I ◎期間：1月20日(金)～2月28日(火)

県内外の写真家が、魚沼の変化に富んだ美しい自然、風景、暮らしを撮影した自慢のベストショットを出品。写真家が愛蔵する往年の名機を展示する特別コーナーは必見です。

■出展者による作品解説会 1月21日(土) 15時～ ■写真教室 2月4日(土) 13時～

一箱古本市@池田記念美術館

◎エントランスホール (入場無料) ◎期間：1月7日(土)～17日(火) ※最終日は15時まで
またまたイケビに登場！ 個性豊かな店主が選んだ古本が約20個のワイン箱に大集合！

雪見展 ※前は回は2日間で2,000人以上の来館者を数えた新年の大イベント！

◎エントランスホールほか ◎期間：1月8日(日)～9日(月・祝) ※9日は16時終了
クラフト&雑貨、ワークショップ、リラクゼーション、古本市、デッサンコーナー、飲食コーナーなど多彩。今回は2階廊下部分も開放し、お店が並びます。両日とも全館無料。

◎書道講座&音楽&カードショー

■書道講座 1月21日(土) 10時～ 講師：佐藤海雲氏

■池田音楽クラブ「音を楽しむ集い」 ※参加無料です

1月22日(日) 11:30～ ピアノ・フルート 14:00～ フォークソング

■BBMスポーツカードショー 2017冬の陣

1月28日(土) 10:00～16:00 今年もやります！ 福袋などお年玉企画満載！



児童生徒美術展の開催期間は全館無料です



1月20日から魚沼ベストショット展が始まります

年間パスポートがお得です！
料金3,000円で発行日から1年間有効。初回申込特典①入館招待券3枚、②イケビカフェで利用できるコーヒーチケット2枚をプレゼント。

池田記念美術館 南魚沼市浦佐5493-3 (八色の森公園内)
TEL 025-780-4080 / FAX 025-777-3815
【開館時間】9:00～17:00 (入館受付は16:30まで)
【入館料】一般 500円 高校生以下無料
【ホームページ】http://www.ikedart.jp

【1月の休館日】
※年末年始休館日(6日まで)
※水曜日(11日、18日、25日)
※17日(火)は最終日のため15時閉館
※19日(木)は展示替えのため休館